

対象取引先:

確認者氏名:

実施日: 年 月 日

対象部材:

実施項目	実施内容	判定	推進状況確認結果	評点方法	採点
1. 方針	RoHS指令管理物質又はJ-Moss規格管理物質又は特定有害化学物質等(以下RoHSで代表して表現する。)の管理に関する「取り組み」が盛り込まれた方針を策定して、維持している。			適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
2. 計画策定					
2-1 ニーズと要求事項の特定及び重点課題の分析	2-1-1 法的及び顧客の要求事項の明確化 2-1-2 管理範囲の明確化	自社の部品が使用される製品に関する法規制と顧客の要求事項の文書が管理され、常に最新情報を維持・管理していること。またRoHS管理に関する情報を必要な部門に対し適切に伝達していること。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
2-2 目的・目標の策定及び運営プロセスの計画		RoHS管理の対象となる「電子・電気業界向け部品」「工程」「物質」を明確にしていること。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
2-3 組織体制、役割、責務、権限の明確化		RoHS管理を推進する体制(責任者および組織)を明確にしていること。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
3. 実施および運営					
3-1 運営管理					
3-1-1 設計・開発		遵守すべき要求事項に適合するために部品の設計・開発過程(設計及び検証)でなすべきことを明確にし、実施していること。		適合=7点 要改善=4点 不適合=0点	
3-1-2 含有情報入手・確認		自社部品を構成する原材料・部品のRoHS情報を入手し、入手したRoHS情報が正しく書かれていることを確認していること。またRoHS情報を検証し、自社基準に適合することを確認していること。		適合=10点 要改善=5点 不適合=0点	
3-1-3 購買管理		自社部品を構成する原材料・部品のサプライヤーにRoHS管理を要求していること。またサプライヤーの管理状況を定期的に確認し必要に応じて改善をうながしていること。		適合=7点 要改善=4点 不適合=0点	
3-1-4 製造工程	3-1-4-1 受け入れ確認	RoHS管理をするうえで「受け入れ確認」でなすべきことを明確にし、実施していること。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
		分析測定による現品確認が適正に行われていること。		適合=5点 要改善=3点 不適合=0点	
	3-1-4-2 工程管理	製造工程での混入・汚染を防止し、酸化・蒸発・反応・含有濃度等の変化による影響を受けないことを確実にする工程管理を実施していること。フタル酸エステルの移行に関する管理を行っている。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
		生産委託先に対して必要な工程管理を要求していること。また生産委託先の管理状況を定期的に確認していること。		適合=7点 要改善=4点 不適合=0点	
3-1-5 変更管理		RoHS管理についての変更管理ルールが定められ、適切に運用していること。		適合=7点 要改善=4点 不適合=0点	
3-1-6 出荷時の確認		RoHS管理に関する全ての工程で、確実な運用管理が行われたことを把握、確認して出荷の判断をしていること。		適合=5点 要改善=3点 不適合=0点	
3-1-7 不適合時の対応		不適合品の処置(適合製品への混入防止を含む。)が適切に行われ、関係者(推進責任者、経営責任者又は事業責任者、関係部門、サプライヤー、顧客等)への通知や報告が速やかに行われる体制を整備していること。また事故の原因調査や対策、再発防止等が行われていること。		適合=7点 要改善=4点 不適合=0点	
3-2 人的資源のマネジメント(教育・訓練)		RoHS管理に必要な教育・訓練を特定し、管理に携わる社員に計画的に教育・訓練を実施していること。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
3-3 文書化及びその管理		RoHS管理に関わるルール・規定(記録を含む)類を文書化し、維持・管理・記録の保管をしていること。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
3-4 コミュニケーション(情報提供)		自社部品のRoHSデータを適正に算定し、顧客及び第三者へ情報提供していること。		適合=10点 要改善=5点 不適合=0点	
4. パフォーマンスの評価及び改善(実施状況の確認と改善)		RoHS管理についての内部監査があり、この中でRoHS管理について、運用を確認していること。		適合=5点 要改善=3点 不適合=0点	
5. マネジメントレビュー(経営者による見直し)		内部監査の結果、問題ある場合は、次期目標など施策に反映していること。		適合=3点 要改善=2点 不適合=0点	
総合判定	合格		コメント:	合計	0
	要改善個所なし	要改善個所あり			
	不合格				
	不適合個所あり				

①:「判定」に判定結果(適合=適、要改善=要、不適合=不、非該当=非)を記入する。

②:「推進状況確認結果」に客観的に確認した事例、ドキュメント名などを記入する。

ただし、不適合または非該当で客観的に確認する内容がない場合は「-」を記入する。

③:「採点」に①の判定を「評点方法」で換算した点数を記入する。

ただし、「実施項目」が取引先の管理対象に該当しない場合は、「判定」に「非該当」と記入し、「採点」には適合と同じ点数を記入する。

④:「合計」に「採点」の合計点数を記入する。

⑤:「総合判定」の判定結果欄に○印を記入する。